

15-3 ロジスティクス【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ-1，Ⅱ-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ-1 次の4設問（Ⅱ-1-1～Ⅱ-1-4）のうち2設問を選び解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

Ⅱ-1-1 サプライチェーン・ネットワークの設計において、押し出し型システムと引っ張り型システムを1つのサプライチェーンで結合した方が適切な場合がある。押し出し型システムと引っ張り型システムを同時に成立させることによるメリットと、そのメリットを与えるために考慮すべき要素について記述せよ。

Ⅱ-1-2 コンシールド・ダメージ（貨物の外から見ただけでは分からない物損事故）は顧客への納期の遅れや翌年の保険料金の上昇など、大きな損害を発生させる。コンシールド・ダメージについて具体的な例を用いて説明し、それを解決するための対策について記述せよ。

Ⅱ-1-3 ロジスティクスにおけるパレットとコンテナの役割について説明し、これらを使用する効果について例を挙げて記述せよ。

Ⅱ-1-4 工場内では自動認識技術を用いることによって物品管理の精度向上や棚卸し作業の効率化が行われている。工場内での物品管理について具体的な例を用いて説明し、それに適した自動認識技術について記述せよ。

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し，答案用紙２枚以内にまとめよ。）

Ⅱ－２－１ あなたが物流センターにおいてマテリアルハンドリングの効率化を検討するに当たり，具体的な事例を挙げて，下記の内容について記述せよ。

- （１）マテリアルハンドリングの効率化のために考慮すべき要素
- （２）業務を進めるに当たって調査・検討すべき事項
- （３）業務を進めるに当たって留意すべき事項

Ⅱ－２－２ トラックによって関東－九州間の輸送を行う企業において，あなたが輸送時のCO₂排出量削減のためにモーダルシフトを検討するに当たり，具体的な事例を挙げて，下記の内容について記述せよ。

- （１）モーダルシフトを検討することによる利点・欠点
- （２）業務を進めるに当たって調査・検討すべき事項
- （３）業務を進めるに当たって留意すべき事項

15-3 ロジスティクス【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ-1，Ⅲ-2）のうち1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し，答案用紙3枚以内にまとめよ。）

Ⅲ-1 製品メーカーと部品メーカー間，あるいは製品メーカーでの在庫削減を目指して，製品メーカーと部品メーカーの間でベンダー管理在庫方式（VMI）を提携しているものとする。これについて，以下の問いに答えよ。

- （1）VMIの仕組みを説明し，製品メーカー側と部品メーカー側のそれぞれのメリットとデメリットについて述べよ。
- （2）製品メーカー側と部品メーカー側がこのVMIでWIN-WINの関係になるとき，部品メーカー側にメリットを与えるために考慮すべき要素を3つ挙げるとともに，それらを実現するための技術的提案を示せ。
- （3）あなたの提案がもたらす効果を具体的に示すとともに，そこに潜むリスクについて論述せよ。

Ⅲ-2 物流センターにおけるロケーション管理には「固定ロケーション方式」と「フリーロケーション方式」がある。これらについて，以下の問いに答えよ。

- （1）それぞれの方式について説明し，メリットとデメリットを2つずつ挙げよ。
- （2）定番商品が少ない場合の倉庫でどちらのロケーション管理方式を採れば良いかを述べ，そのために解決すべき課題を示し，それを解決するための案を示せ。
- （3）あなたの提案がもたらす効果を具体的に示すとともに，そこに潜むリスクについて論述せよ。